

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 265 号 ★★★

2017. 5. 29

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。【アドレス変更/  
配信中止】 【ご質問・お問合せ】 【掲載希望】は、日本プロテオーム学会事務局 ([info@jhupo.org](mailto:info@jhupo.org)) にお願  
いいたします。

■■■■ 日本プロテオーム学会 2017 年大会 (JHUP0 第 15 回大会) のご案内 No.4 ■■■■

■■■■ Late-breaking abstract の受付について ■■■■

(本メールが読みにくい場合は添付書類をご覧ください)

日本プロテオーム学会会員の皆様

日本プロテオーム学会 2017 年大会 (JHUP0 第 15 回大会) (7 月 26 日～28 日) では Late-breaking abstract  
の登録を受け付けます。

(大会の概要を本メールの下段に載せていますので是非ご覧ください。詳しくは大会ホームページをご覧  
ください (<https://www.jhupo.org/2017/index.html>))

締め切り等は以下の通りです。

**一般演題 登録の締め切り：5 月 31 日 (水)**

**Late-breaking abstract 登録の締め切り：6 月 16 日 (金)**

◆ 若手口頭発表について

各シンポジウムで公募枠を設け、一般演題の中から若手の優秀な演題を選んで口頭発表をお願いする予定  
です。ただし、Late-breaking abstract はポスター発表限定となっておりますので、口頭発表の対象とは  
なりません。

◆ ベストポスター賞について

一般演題と Late-breaking abstract のポスター発表の中から若手の優秀な演題に対してベストポスター  
賞を選び、大会最終日に表彰します。

◆ HUP02017 トラベルアワードについて

一般演題と Late-breaking abstract のポスター発表の中から若手の優秀な演題に対して HUP02017 ((HUP0  
16<sup>th</sup> Annual World Congress in Dublin, 2017 年 9 月 17 日～20 日開催)に参加・発表される若手研究者を支援するた  
めの「JHUP0 トラベルアワード for HUP0 2017」を設けております。詳しくは JPrOS 通信 No. 262 をご覧くださ

い。

若手研究者の方の多数の登録をお待ちしております。

## 【大会の概要】

本大会はテーマとして「プロテオームは爆発だ～医療に変革を～」を掲げ、わが国のプロテオーム研究をいかに活性化するか、また、プロテオーム研究の成果や技術を使ってどのように医療に変革をもたらすかについて、皆さんと一緒に考え、議論したいと考えています。招待講演者として、ヒトプロテオームデータベースの構築だけでなく、臨床プロテオミクスの分野でも精力的な仕事をされている Akhilesh Pandey 教授、創薬プロテオミクスの第一人者である Benjamin Cravatt 教授、リン酸化プロテオミクスの臨床応用を目指した研究をされている Steven Pelech 教授と Benjamin Ruprecht 博士および韓国 KHUPO との交換講演として Cheolju Lee 博士をお招きしております。

プロテオミクスにご興味をお持ちの幅広い分野の専門家や若い研究者、大学院生など多くの方々にご参加いただき、皆様の研究の更なる発展に結びつく大会になることを願っております。

## 【主なセッション】

1 日目 (7 月 26 日水曜日) PM

教育セミナー

2 日目 (7 月 27 日木曜日) AM

招待講演 : Akhilesh Pandey

シンポジウム : Clinical Proteomics, Technological Advances

2 日目 (7 月 27 日木曜日) PM

招待講演 : Benjamin Cravatt, Benjamin Ruprecht

シンポジウム : Pharmacoproteomics & Drug Development Basic biology (Other than Mammals)

3 日目 (7 月 28 日金曜日) AM

招待講演 : Cheolju Lee, Steven Pelech

シンポジウム : Basic biology (Mammals), Computational proteomics

3 日目 (7 月 28 日金曜日) PM

シンポジウム : Biobank & Body fluid, Systems Biology

## 【本大会の目玉企画】

### [1] 26 日 (水) 午後の教育セミナーとランチョンセミナー

これからプロテオームを始める研究者やプロテオーム解析経験者を対象として、他の学会や研究会では聞けないような解析のノウハウを紹介するテクニカル教育セミナーを予定しています。また、教育セミナーの前に島津製作所のランチョンセミナーもありますので、教育セミナーを受講される方は是非ランチョンセミナーにもいらしてください。

### [2] 27 日 (木) 夕方の企業新技術紹介

本大会では、特別講演、シンポジウム、ポスターセッション以外に、企業の技術紹介のイブニングセッションを設け、企業の方々に自社製品や自社開発研究を紹介していただく予定です。その時間は、ドリンク付になっていますので、お酒やソフトドリンクを片手に企業の方とディスカッションしていただければと思

います。

### [3] 27日（木）懇親会（3000円均一）

学術企画だけでなく、懇親会でも特別企画を用意しております。お酒が飲めない方も楽しめますので、お誘いあわせの上ご参加ください。

1. 梅花女子大学のチアリーディング
2. サプライズイベント

### 【宿泊に関するご案内】

学会会員の参加者で大会会場のホテル阪急エキスポパークに宿泊を希望される方は、特別料金で宿泊していただけます。

シングル：満室になりました。

ツイン（1名利用）朝食込：¥13392-（税・サ込）

ツイン（1名利用）朝食無：¥11880-（税・サ込）

大会会場からモノレールで2駅の千里中央駅近くの千里阪急ホテルはまだシングルがあります。

シングル朝食込：¥12312-（税・サ込）

シングル朝食無：¥10962-（税・サ込）

宿泊を希望される方は下記大会事務局までご連絡ください。

締め切り：5月31日水曜日

なお、満室になり次第申込を締め切らせていただきますのでご了承下さい。

日本プロテオーム学会 2017 年会（JHUP0 第 15 回大会）大会長  
日本プロテオーム学会 会長  
朝長 毅  
（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）

大会事務局  
国立研究開発法医薬基盤・健康・栄養研究所  
プロテオームリサーチプロジェクト  
567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8  
TEL 072-641-9811（代表） FAX 072-641-9861  
E-mail : jpros2017@nibiohn.go.jp